

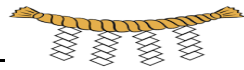
| | |
|-----|-----|
| 配布先 | |
| 参本 | 60 |
| 本東 | 45 |
| 芳 | 130 |
| 他 | 90 |
| | 20 |



回覧 氏子崇敬者様
 地元の氏神様 奈良時代より1,300年
 式内 津毛利神社 だより
 式内社とは平安時代中期の延喜式神名帳に記載された古い歴史ある古社です。

令和6年2月
 (不定期) 第13号
 〒430-0816
 浜松市中央区参野町113 氏子総代

活動報告



祈年祭 が2月12日に行われました。

いよいよ新年度が始まります。

<神社の3大お祭りの一つで重要なお祭りです。>

古くは「としごいまつり」と言い、収穫感謝祭です。新嘗祭(にいなめさい)と対になすかたちで神社の重要なお祭りです。「とし」とは穀物のことで稲を意味します。「**稲が豊かに実る(繁盛する)ことを祈る祭りです。**」

自治会長はじめ、自治会三役に同席いただき、今年もきちっと祈願したことを報告します。

祈年祭神事後自治会長・自治会三役・矢野宮司を交えて令和5年度の総括(懇談会)を行いました。



【自治会長・三役参席して地域の豊作(繁盛)を祈願。】



1月21日(日)に「焼納祭」が行われました。

1月21日(日)はあいにく小雨、午前10頃より雨はあがり始めました。お焚上場を南側に移動し、隋神門の屋根下で参拝していただきました。ビニールシートを敷き、雨に濡れることを最小限にして、お焚上を行いましたので報告します。



【ご参拝いただきました。】



【お焚上をしました。】



【自治会長参席して焼納祭】

じよさいしよつひく
除災招福
 当神社のご祭神は
 災いを取除き「福」を呼ぶ神様です。

式内
津毛利神社



【神様からの豆知識】

玉串(たまぐし)とは

みずみずしい榊の枝に、紙垂(しで)や木綿(麻)を「つけたもの」。神職や参拝者が神様に拝礼するときに捧げる。地方によっては、榊の代わりに杉、モミ、ヒバなど、その土地とゆかりの深い植物を使います。神前結婚式や神葬祭、お宮参りや七五三、厄払いの参拝で、祝儀袋や不祝儀袋に「玉串料」と記すのは、玉串の代わりに金品を納めるという意味です。



- 日頃より、津毛利神社の活動・運営に対し**ご支援・ご協力**を頂きまして誠にありがとうございます。
- 津毛利神社の活動(運営)は**初穂料**により行われています。引続きのご支援・ご協力をお願い致します。

<新入学児童祈願祭の予告>

3月24日(日)に新入学をお祝いして!
 地域の皆様の大事な新一年生が
「元気で大きくなります様に!」
 新入学児童祈願祭を行います。



ご希望により、思い出(記念)のため拝殿奥の金幣の前で宮司と
 いっしょに写真を撮ります。

<<今後の祭事予定>>

3月24日(日):
 新入学児童祈願祭
氏子総代

<別紙回覧物にてお申込み下さい。>

※詳しくは各町氏子総代にお問合わせ下さい。